

# 高知市立中央公民館事業 高知市民の大学 第93期生 募集要項

趣  
旨

21世紀に入り、世界も日本も大きな曲がり角に来ているように思われます。拡大から縮小へ、競争から共存へ、社会も私たちの生活も大きく変わりつつあり、新しい価値観も生まれてきています。しかし一方では、これらの変化には惑わされずに、数千年の人類の歴史を貫く価値観も厳然として存在しています。私たちは社会の変化を知り、これに対応する必要に迫られる一方で、時間と空間を超えた不変の真理にも心を惹かれます。

創設以来47年、県下における生涯学習のパイオニアである「高知市民の大学」は、「食品」や「経済」といった生活に密着した問題と、「宇宙」や「心」のようないわば「不易」な問題をバランスよく取りあげて、毎回多くの市民の皆様にご受講いただいております。大学外や県外からも魅力ある講師をお招きするのも本大学の特徴です。

夕べのひと時、共に学び、共に考えませんか？ 知の刺激は心地よいものです。

要  
項

- 1 在学期間 2023年4月4日～2023年7月21日
- 2 場 所 高知市文化プラザかるぼーと11階 高知市立中央公民館 大講義室
- 3 曜日と時間 火曜日 総合コース 18時30分～20時  
金曜日 総合コース 18時30分～20時
- 4 募集人員 各コース80名(先着順)
- 5 受講料 1コース 2,800円(テキスト代500円を含む)  
両コース一括 4,800円(テキスト代1,000円を含む)  
※定員に余裕がある場合は1日だけの受講も可能 各回500円  
ただし、当日のお申し込みは座席の空席状況によってはお断りする場合がありますので、事前にお電話でご確認ください。
- 6 講 座 講義
- 7 申し込み 2023年3月1日(水)から高知市文化プラザかるぼーと8階文化振興事業団で受け付け  
(3月31日まで月曜・祝日を除く8:30～17:15、4月1日から月曜を除く8:30～20:00)  
高知市九反田2-1 TEL 088-883-5071 FAX 088-883-5069
- 8 その他
  - ・講義の課程は下記のとおりですが、講師の都合、天候や新型コロナウイルスの感染の状況により、やむを得ず日程変更や中止、講師のリモート出演となることがあります。
  - ・最終日は講義終了後に閉講式を行い、10日以上出席した受講生には修了証書を授与します。
  - ・会場には有料駐車場があります(30分ごとに150円)。※身体障害者手帳(1～4級)をお持ちの方は最初の1時間の料金が無料になります。

■主催  
高知市民の大学運営委員会  
(委員長 高知大学名誉教授 岩田 裕)  
公益財団法人高知市文化振興事業団  
高知市

■後援  
高知新聞社／RKC高知放送



## ◆火曜日：総合コース

### 「ロシアのウクライナ侵攻と危機に立つ世界の今」

月 日	講義テーマ(内容)	講 師
4月4日	ロシアは何故ウクライナに侵攻したのか	高知大学 名誉教授 岩田 裕
4月11日	日本とウクライナの政治、経済における共通点 ※オンライン講義を予定	高知工科大学経済・マネジメント学群 助教 コシヤンチン・オガシアンニコウ
4月18日	ウクライナとその戦争はどこから来て、どこに行くのか？	立命館大学 名誉教授 田中 宏
4月25日	ロシアのウクライナ侵略とアメリカの政府の立ち位置 -NATOとアメリカの関係-	高知大学 名誉教授 青木 宏治
5月2日	ロシアのウクライナ侵略と「平和国家」という日本の軸 -国際平和への努力-	高知大学 名誉教授 青木 宏治
5月9日	ウクライナ侵攻とそれに対応するEUの動向	高知大学人文社会科学部 教授 霜田 博史
5月16日	ウクライナ侵攻とそれに対応するドイツの動向	高知大学人文社会科学部 教授 霜田 博史
5月23日	エネルギー資源と軍力依存のロシアはやがて没落に向かうか？	高知大学 名誉教授 岩田 裕
5月30日	東南アジアから見たウクライナとロシア	高知大学地域協働学部 准教授 石筒 覚
6月6日	ウクライナ侵攻に対するマレーシア・インドネシアの動き	高知大学地域協働学部 准教授 石筒 覚
6月13日	ウクライナ侵攻と英国の社会状況	高知大学人文社会科学部 教授 中川 香代
6月20日	ウクライナ侵攻で日本の北方領土返還交渉はどうなるか？	弁護士 谷脇 和仁
6月27日	人権侵害の視点から見るウクライナ侵攻	弁護士 谷脇 和仁
7月4日	ロシアのウクライナ侵攻に対する中国(・台湾)の動向	高知大学 名誉教授 吉尾 寛
7月11日	総合討論	複 数 講 師

## ◆金曜日：総合コース

### 「人生100年時代を生きる智慧 未来を支える看護」

月 日	講義テーマ(内容)	講 師
4月7日	生活リズムを整えて健康を守ろう！ ～よく動き、よく眠る～	高知県立大学看護学部 教授 瓜生 浩子
4月14日	よりよい人間関係を育むために ～聞く技術を考える～	高知県立大学看護学部 教授 畦地 博子
4月21日	ライフステージからみた女性特有の症状とのつきあい方	高知県立大学看護学部 教授 渡邊 聡子
4月28日	生活習慣病とのつきあい方 ～医療制度改革の動向を知って賢く生きる～	高知県立大学看護学部 教授 内田 雅子
5月12日	がんと折り合って生きる ～家族や身近な人ががんになったら～	高知県立大学看護学部 教授 藤田 佐和
5月19日	延命治療とQuality of Life ～そのとき治療をどう選ぶか～	高知県立大学看護学部 教授 大川 宣容
5月26日	最期まで自分らしく家で過ごすために ～人生会議のすすめ・人生会議って何？～	高知県立大学看護学部 准教授 川上 理子
6月2日	Well-beingを支える医療とケアの仕組み ～「ととき入院、ほほ在宅」の実現に向けて～	高知県立大学看護学部 教授 久保田 聡美
6月9日	精神障がいをもつ人がその人らしく 生きることを支える	高知県立大学看護学部 教授 田井 雅子
6月16日	発達障がいのある子どもとその家族を支える	高知県立大学看護学部 教授 池添 志乃
6月23日	子どもとともに地域で生きる ～自然災害への日頃からの備えを通して考える～	高知県立大学看護学部 准教授 佐東 美緒
6月30日	日々の生活に潜む「災害」 ～人生後半に遭遇する可能性が高い急な病気や出来事と、そのための備え～	高知県立大学看護学部 教授 竹崎 久美子
7月7日	災害時に、住民参加ですべての被災者の安否と健康状態を把握する仕組みCOACHES(コーチーズ)	高知県立大学看護学部 教授 木下 真里
7月14日	災害後の避難生活を健康に過ごすためにできること	高知県立大学看護学部 准教授 小澤 若菜
7月21日	家族のエンパワーメント ～病いや災害を乗り越える家族の潜在力の発揮を目指して～	高知県立大学看護学部 教授 長戸 和子

※5月5日は休講

※必ず裏面をお読みください

# 高知市民の大学を受講される皆さまへ

皆さまの安全と健康を守るための措置として、次のような新型コロナウイルス感染症の予防策を実施します。受講生全員が安心して受講できる環境づくりのため、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

## 【基本的な感染予防策】

### \* 次のような場合は受講をご遠慮ください

- ・平熱と比べて高い発熱がある場合
- ・体調不良や咳、鼻水、味覚や嗅覚の障害、倦怠感等の発熱を伴わない症状がある場合
- ・受講前の7日間のうちに、新型コロナウイルス感染症に感染した または、濃厚接触者と判断された場合

### \* 次のことを徹底してください

- ・受講の際は必ずマスク(フェイスシールド・マウスシールドは不可)を着用し、手洗い、手指消毒を励行してください。マスクを正しく着用いただけない場合は参加できません。

### \* 次のことにご協力ください

- ・受講生同士の間隔を確保するため座席や配置を指定・制限する場合があります。
- ・教室内での、水分補給以外の飲食はお断りします。
- ・講座の実施期間中(約3か月)は感染リスクが高いと感じられる場所への移動や行為に十分ご注意ください。
- ・受講中に発熱等の症状が感じられた場合は職員にお声がけいただき指示に従ってください。

---

※ここに記載している新型コロナウイルス感染症予防策は募集要項作成時におけるもので、感染状況によって予告なく内容を変更する場合があります。ご了承ください。 令和5年2月